

クラウン令和8年度課題詩(1)

Table with 4 columns and 4 rows of Japanese poetry. Each cell contains a poem in Japanese with its title and author in parentheses. The poems are: 1. 暁に発す (月田蒙齋), 2. 熊本城 (原雨城), 3. 酒に対す (白居易), 4. 折楊柳 (楊巨源), 5. 河内路上 (菊池溪琴), 6. 江畔独步花を尋ぬ (杜甫), 7. 出郷の作 (佐野竹之助), 8. 長城 (王遵), 9. 鶴鶴楼に登る (王之涣), 10. 獄中の作 (橋本佐内), 11. 春簾雨窓 (頼鴨厓), 12. 竹里館 (王维), 13. 京都東山 (徳富蘇峰), 14. 後夜仏法僧鳥を聞く (空海), 15. 新涼書を読む (菊池三溪), 16. 早に深川を発す (平野金華), 17. 霜は軍営に満ちて秋気清し, 18. 坂本龍馬を思う (河野天籟), 19. 清平調詞 その一 (李白), 20. 洞庭湖に遊ぶ (李白), 21. 残月の滴露人の袂を湿す, 22. 蘇岳を東に望み西は火の海, 23. 蝸牛角上何事をか争う, 24. 水辺の楊柳緑烟の糸, 25. 暁風髪を吹いて秋冷を覚ゆ, 26. 白川南に下つて水潺湲, 27. 石火光中此の身を寄す, 28. 唯春風の最も相惜しむ有つて, 29. 忽ち驚く大蛇の路に当つて横たわるを, 30. 藤公の偉業城と偕に熾んに, 31. 富に随い貧に随い且らく歓楽せよ, 32. 口を開いて笑わざるは是れ癡人, 33. 剣を抜いて斬らんと欲すれば老松の影, 34. 秋雨春風勇魂を弔う, 35. 口を開いて笑わざるは是れ癡人, 36. 慇懃更に手中に向つて吹く